広報りっとう

うますぎる栗東

RITTO SHIGA, JAPAN

11
2018
No.958

特集：うますぎる！ 栗東の学校給食

今月の主な内容
・まちづくりの功労者を表彰
・学校図書館をリニューアル
・市長からのメッセージ

金勝小学校では、月に１度「おにぎり弁当日」を実施。「お米そのもののおいしさを味わってほしい」「『食』への感謝の気持ちを持ってほしい」「災害時のことを想定し、万が一の時の備えができるように」との思いで始まりました。

この日、子どもたちはおにぎりだけを昼食に持参。素材のうまみをみんなでいただきます。

うますぎる！ 栗東の学校給食

９月、新しい学校給食共同調理場が完成し、市内中学３校で９年振りに給食を再開。弁当の日も残しながら、食育を推進しています。
学校給食には、まちの「うまい！」が詰まっています。

炊きたて米飯を子どもたちに

栗東市川辺にあった施設の老朽化に伴い、高野に新しい学校給食共同調理場が完成しました。これを機に、市内９つの小学校、６つの保育園・幼稚園・幼児園に加え、市内３つの中学校への給食を再開しました。

新しい施設の特徴は、

●食物アレルギーに対応できる専用調理室があり、食物アレルギー（乳・卵）除去食の提供が可能になった

●炊飯設備があり、調理場で炊いた温かい米飯が提供できるようになった

ことなどです。

給食では、栗東産や滋賀県産の食材を積極的に使用。米飯はすべて栗東産米です。献立表や給食時の放送でも紹介し、地産地消を推進しています。

施設全体を生きた教材に

栄養バランスの良さを考えながら、毎日の献立を考えているのが、栄養士の皆さん。

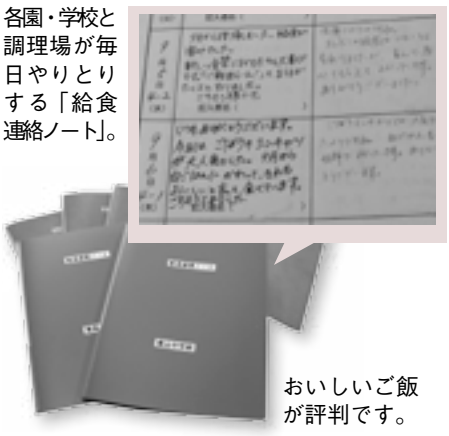
「栗東産や滋賀県産の野菜を可能な限り使うように努めています。子どもたちが意識して食べて

うまい施設

1

2

①調理の様子が見える見学スペースを設けています②「食育コーナー」では子どもたちから届いた手紙などを展示。「この施設を生きた教材にします」と職員



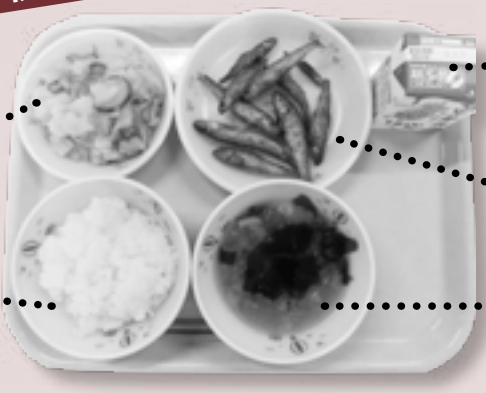
各園・学校と調理場が毎日やりとりする「給食連絡ノート」。

おいしいご飯が評判です。

おいしいね！栗東産

給食の一例として、9月18日は「栗東食材の日」「滋賀県の日」でした。お米、とうがん、じゃがいもが栗東産、米粉が滋賀県産。子どもたちが、地元で育てられた食材に感謝しながら、給食をおいしくいただきました。

9月18日・小学校のメニュー



くれることを願い、献立表にも記載しています。新しい施設になってから『ご飯がおいしい！』という声が多く届いています。

学校給食共同調理場全体を生きた教材として活用し、食の楽しさを給食から伝えていくことができたら」と話します。

食育推進の重要な施設

「食べることは一生続く大切なこと。だからこそ、子どもたちの将来までを考えた献立にしています。素材の味をいかし、栄養面を考えた組み合わせの提案をすることで、給食のメニューが今後の家庭での食事の参考になればと考えます」と続ける栄養士の活動は、学校給食共同調理場にとどまりません。

小学3年生から6年生を対象にした食に関する指導、毎月1回発行される「給食だより」を通じて、子どもたちと家庭に向けて、食と健康に関する情報を発信しています。

子どもたちへの食育推進の一翼を担う施設に、さらなる期待が高まっています。

■BBCびわ湖放送 栗東市広報番組「うますぎる栗東～新しい学校給食共同調理場が完成！～」

・放送日時…
11月3日㈷ 18時5分～18時10分
・再放送…
11月10日㈯ 18時5分～18時10分

※番組終了後は、市ホームページでも動画配信。ぜひご覧ください。

おいしく食べて健康に

市では、平成27年３月に「第２次栗東市食育推進計画」を策定。「おいしく食べて、心も体も健康に！」を目指す姿として、平成27年度から５年間の計画を定めています。

家庭での調理や弁当づくりの体験を推進するとともに、給食の食べ残しを減らすため、食の大切さを子どもや保護者に伝えることなどに取り組んでいます。

「安全でおいしい！学校給食でみんな元気いっぱい！」。愛情が詰まったメニューが今日も各園や小・中学校に届けられています。温度管理ができる設備で、温かい料理はより温かく、冷たい料理も冷たく提供。おいしいメニューに子どもたちも笑顔。

愛情たっぷりの安心・安全な米や野菜をたくさん食べてね

うまい作り手

生産者の思いを乗せて

給食では、積極的に地元産を使い、地産地消を推進しています。

●**米飯**…すべて栗東産で、滋賀県の「環境こだわり農産物」認証を受けたコシヒカリを使用

●**野菜**…栗東産の野菜は、「栗東食育ファームの会」の野菜を使用。「栗東食育ファームの会」は、「子どもたちへの安全な地元食材の提供」という目的で、平成21年設立。現在のメンバーは32人で、白菜、タマネギ、キャベツなど12品目、1万4035kgを学校給食に出荷しています。

米

環境こだわり農産物

上砥山営農組合の皆さん

上砥山営農組合は、平成26年に農事組合法人となりました。水田面積は55ヘクタールで、先人の努力で肥沃な大地を圃場整備した美田です。

緑豊かな金勝山系と森林から湧き出る清水がおいしい米の源。県の「環境こだわり農産物」の認証を受けた米を精魂込めて作っています。

金勝米は、近江の米産地として古来から有名で、関西の米問屋が金勝の生産地を確認して買っていったと聞きます。

給食で金勝の米のおいしさを知ってもらい、大人になっても「栗東のお米はおいしかった」と次世代の子どもたちに継承していただけたらうれしいです。

野菜

環境こだわり農産物

三浦 雅博さん（東坂）

もともと広島県で漁師をしていました。3年前、結婚を機に栗東に移り住み、農業に挑戦。「栗東まーちゃん農園」を始めました。

「栗東食育ファームの会」の一員として子どもたちに野菜を届けています。

自分にも小さな子どもがいるので、「安全・安心にこだわった、おいしい旬の野菜を子どもたちに届けたい」という思いが強いです。子どもたちの顔を思い浮かべながら作っています。

栗東の野菜を食べて、地域を知って、まちをもっと好きになってもらえたらと思います。おいしい栗東産野菜を私たちが伝えていけるように頑張ります。

特別メニューのお鍋

特別給食として、毎年冬に鍋メニューが登場しています。子どもたちが、生産者や給食調理員とともに鍋を囲みながら、感謝の気持ちを伝え、交流を深めています。

4年生：菜めし田楽とおでん鍋

江戸時代、東海道にある目川立場の名物だった「豆腐田楽」と「菜めし」。田楽からおでんが派生したと言われています。

栗東の歴史を学びながら、豆腐田楽、菜めし、おでんをいただきます！

5年生：ほのぼの鍋

「学校給食の新メニュー」料理コンクールで、「白菜とベーコンの洋風鍋」が採用され、児童が「ほのぼの鍋」と命名しました。平成2年度からの伝統メニュー。

栗東産白菜など野菜たっぷりで、一日に必要な野菜の半分の量がとれる！

年２回、全校でお弁当づくりにチャレンジ ～葉山中学校～

うまい 学校行事

1

2

3

①玄関廊下には力作を写真紹介しています。校長先生や教頭先生のお弁当紹介も②おにぎり弁当日に先がけ、２年生が調理実習でおにぎりを作りました③アイデアあふれる数々。みんなでおいしくいただきます。

年２回、自分で作る弁当の日

市では、親子のふれあいをはぐくむことなどを目指し、週１回の弁当日を設けています。

中でも葉山中学校では、平成23年度から年に２回「自分で作る弁当の日」を実施中。７月は「おにぎり弁当の日」として、また、11月は学校独自の食育週間にあわせて弁当づくりを啓発しています。

「自分で作る」とは、「おかずを一品でも自分で作る」「調理はしていないが、お弁当におかずを自分で詰める」ことも含まれます。生徒ができる範囲で取り組んでいます。

弁当の日を想定した調理実習

「『お弁当づくりをとおして、食の楽しさや大切さを見直そう』『家族や食物生産者などに感謝の気持ちを持とう』と取組みを進めてきました。２年生にはおにぎり弁当の日を前に、総合学習の食育として調理実習もしています」と語る、養護教諭の田中輝美さん。

７月５日の「おにぎり弁当の日」を想定し、２年生は事前にお米の歴史、おいしく炊く方法などを学習。調理実習に向け、具材を考えました。

実習では、鮭フレーク、ケチャップボールなど、具材をはじめ形にも工夫を凝らしたおにぎりが完成。この実習を受け、７月５日に向けて、それぞれが中身を考えました。

当日は各自が弁当を持参。２年生からは「実習があったので、今回は自分できれいに握ることができました」という感想も寄せられました。

豊かな人間性をはぐくむ

「毎年、11月の食育週間では、道徳や食育だけでなく、各教科の中でも『食』について考える機会を持っています。８年間の取組みで、昨年度のお弁当の日には平均すると約55％の生徒がお弁当づくりに関わりました。作ることはできなくても、弁当箱を洗ったり、感謝の気持ちを伝えた生徒も平均すると約24％いました。『大変なのに朝早く起きて作ってくれていることに感謝』『毎日は難しいので、１週間に１回は〝ありがとう〟を言おうと思う』『また手伝いたい』という生徒の声が届いています。

今後も『食の自立』や『感謝の心』につなげていくことができたら」と続ける田中養護教諭。

弁当づくりが、感謝の気持ちや食への関心につながり、子どもたちの豊かな人間性をはぐくんでいます。

７月５日のおにぎり弁当の日、お弁当作りをした人は62%

92%の生徒が取り組みました（調査人数375人）

■お弁当づくりをした人…62%
①感謝の気持ちを込めて、自分と家族分を作った…６％
②家族の負担を少なくし、自分のお弁当は自分で作った…24%
③おうちの人と一緒に弁当作りにチャレンジした…32%
■お弁当は作らなかったが、「ありがとう」の一言を伝えた、弁当箱洗いをした人…30%

＜生徒の感想から＞
・３年生になるとおにぎり作りに慣れてきて、ある程度きれいにできるようになってきました。
・毎日家族の分を作ってくれてすごいです。たまには自分の分だけでも作ろうと思いました。

＜保護者の感想から＞
・栄養面や彩りを話しながら、一緒に作れて、楽しかったです。
・妹のお弁当をデザインから作成まで心を込めて作ってくれた姿に成長を感じました。

まちづくりの功労者を表彰

10月8日、「市政功労者表彰式」を行いました。式では、各方面で市の発展・振興に貢献した人・団体（自治功労1人、社会功労48人と8団体、感謝状2団体）に表彰状と記念品を贈りました。表彰を受けた皆さんは次のとおりです。
※順不同・敬称略。カッコ内は、功績のあった主な活動分野または業績です。

自治功労

自治行政の振興に寄与され、功績顕著な人

▽澤　光納（消防団員）

社会功労

市の公益増進に寄与され、功績顕著な人・団体

▽長澤悦郎（自治会長）
▽加藤孝由（自治会長）
▽西村政之（自治会長）
▽上田玄雄（人権擁護委員）
▽伊勢村修（農業振興会会長）
▽石田　勝（図書館協議会会長・委員）
▽北川幸穂（健康推進員）
▽髙島美代子（健康推進員）
▽中村由理子（健康推進員）
▽岡野やよい（健康推進員）
▽市川秀子（健康推進員）
▽三浦正枝（健康推進員）
▽島田さと美（健康推進員）
▽西村惠美子（健康推進員）
▽山本千代子（健康推進員）
▽國松哲朗（少年補導委員）
▽田代一也（ひだまりの家運営審議会委員・会長）
▽渡邉惠美子（交通安全パトロール隊隊員）
▽服部順子（交通安全パトロール隊隊員）
▽千代光男（交通安全シルバーキャラバン隊員）
▽小泉一夫（交通安全シルバーキャラバン隊員）
▽三島光代（交通安全シルバーキャラバン隊員）
▽茅島康彦（交通安全協会治田東支部交通指導員）
▽大﨑啓子（統計調査員）
▽廣瀬國子（統計調査員）
▽川上結美（統計調査員）
▽大阪幸子（介護相談員）
▽太田和男（ボーイスカウト指導者）
▽大谷清明（体育協会役員）
▽内記一彦（体育協会役員）
▽髙田健男（体育協会役員）
▽山口　伸（陸上競技協会役員）
▽池田昭則（陸上競技協会役員）
▽安達健治郎（陸上競技協会役員）
▽島　孝志（陸上競技協会役員）
▽谷口昭次（テニス協会役員）
▽里内英幸（野球連盟役員）
▽堀池清子（シルバー人材センター役員）
▽青木貞雄（観光物産協会役員）
▽奥村ひろみ（スポーツ推進員）
▽南原佳子（登校時の見守りボランティア）
▽吉原みち子（更生保護女性会役員）
▽武村静文（保護司）
▽太田賢司（民生委員児童委員）
▽國松靖子（民生委員児童委員）
▽柴田美知代（民生委員児童委員）
▽上田叔那（生活環境保全推進員）
▽寺田一子（高齢者サロンの運営）
▽マミーズバンド奏（KANADE）（楽器演奏による地域ボランティア活動）
▽竹（楽器演奏による地域ボランティア活動）
▽ぼちぼち（小物などの作成による地域ボランティア活動）
▽二湖の会（二胡の演奏による地域ボランティア活動）
▽栗東ふぁざ～ず倶楽部（ボランティア活動による地域貢献）
▽栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会（博物館の事業運営に寄与）

感謝状

特に市政振興に功績顕著、または公益のため、多額の寄付をいただいた人・団体

▽公益財団法人 河本文教福祉振興会（多額の寄付）
▽大宝小学校ＰＴＡ（多額の寄付）
▽栗東市商工会女性部（ボランティア活動による地域貢献）
▽栗東市商工会青年部（ボランティア活動による地域貢献）

表彰された皆さんを代表して澤さん（自治功労）が謝辞を述べられました。

問元気創造政策課 秘書係 ☎551-0102 FAX553-1280

飲酒運転撲滅の啓発活動

9月22日、草津市のＡ・ＳＱＵＡＲＥで、交通安全啓発イベントがありました。「道路に安全で笑顔の花を咲かせる」との願いを込めて、プランターへの植花や来場者に花の種と交通安全啓発チラシの手渡しで、交通事故防止などを呼びかけました。

本市の交通死亡事故は、9月末現在で936日ゼロとなっています。「少しなら大丈夫」その軽い気持ちが命取りになります。飲んだら「運転しない」「運転させない」を徹底しましょう。

栗東交通安全パトロール隊 交通安全啓発活動中

市民によるボランティア団体「栗東交通安全パトロール隊」は、50～80代の隊員23人で交通事故ゼロを目指して活動しています。

昭和55年に発足以来、市内の幼稚園・保育園での大型紙芝居を使った交通安全教室の開催や、栗東駅などでの交通安全啓発活動を行っています。

「事故に遭わない、事故を起こさない」ように安全確認し、交通ルールを守りましょう

～隊長からのひとこと～

交通事故のない安全なまちを目指して活動しています。実際に、交通事故の件数が減ってくると、啓発活動のやりがいを感じます。

皆さんに少しでも交通安全の意識をもっていただけるよう今後も積極的に活動していきます。

新規隊員の募集もしていますので、交通安全啓発活動やボランティア活動に関心のある人は土木交通課までご連絡ください。

ぜひお待ちしています。

▶秋の全国交通安全運動にあわせて、スーパーマーケットの前で路上啓発活動。警察官や中学生たちも一緒に啓発しました。

問土木交通課 交通対策係 ☎551-0291 FAX552-7000

学校図書館をリニューアル ～もっと身近で、使いやすく～

学校図書館の充実

学校図書館には、「読書センター」「情報センター」「学習センター」といった3つの機能があります。

これまでの学校図書館は、「読書の場」として主に活用されてきましたが、現在は、児童生徒が「情報を活用して主体的に学習する場」としても位置づけられるようになりました。

平成29年3月に告示された新学習指導要領でも、「これからの学校図書館には、読書活動の推進に加え、『調べ学習』などさまざまな教科の授業で活用されることにより、言語活動や探究活動の場となり、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資する役割がいっそう期待されている」と記されています。

このような役割がいっそう発揮されるよう、落ち着いて本が読める環境、知的好奇心が育つ、開かれた学びの場に整えていくことが大切になります。

みんなでつくり上げた学校図書館リニューアル

「学校図書館リニューアル」とは、蔵書を日本十進分類法に従って整理、配列し直し、書架用サインを入れて、書架にどんなテーマの図書が並んでいるか一目で分かるようにするものです。また、子どもたちが、『調べ学習』を行う学習スペースを確保し、図書館活用の推進を目指します。

市では、平成27～29年度にかけて大宝小学校、治田東小学校、葉山中学校の3校で図書館のリニューアルを進めてきました。

本年度は、3年間で培ったノウハウを生かし、市立図書館と連携して新たに3校で取り組んでいます。

リニューアルオープンに向けて、先生のオリエンテーションを行いました（大宝西小）

みんな一丸となって作業中（治田小）

夏に、大宝西小学校と治田小学校でリニューアルを行いました。

まずは、図書委員会や保護者、市立図書館の図書ボランティアの皆さんによる書架サイン作りやラベルの書き換え作業から始まります。丁寧な下準備が、成功につながりました。

本番は、すべての図書を書架から下ろす作業、書架の配置換え、分類ごとに入れ直す作業を行いました。子どもたち、図書ボランティアの皆さん、教職員が力を合わせ、みんなで図書館を新しく生まれ変わらせました。新しい図書館を早く子どもたちに使ってほしい、そんな期待で胸が膨らみました。

本年度最後のリニューアルは、栗東西中学校で行います。冬の作業に向けて、図書委員会や図書ボランティアの皆さんと一緒に準備を進めています。

新しく生まれ変わった学校図書館

リニューアル後の図書館は、休み時間に子どもたちであふれ、座る席がないほどです。カウンターには列ができ、楽しそうに本を選ぶ姿も見られます。生まれ変わった図書館が子どもたちに自然に受け入れられたようです。

子どもたちがさまざまな分野の図書に出会えるよう、今後も順次、学校図書館のリニューアルを進めていきます。

生まれ変わった図書館に多くの子どもたちが集まっています（治田小）

問学校教育課
☎551-0130 FAX 551-0149

教育委員会委員に内記一彦さん

本市の教育委員に内記一彦さん（御園）が10月1日付けで再任されました。

内記委員は、本市の教育部長などを歴任し、平成27年4月1日より教育委員に就任されました。

再任にあたり「将来に夢を持ち、自尊感情を高め、生きる力をしっかりと持った子どもたちであふれる栗東市となるように微力ながら努力をしていきます」と抱負を述べられています。

問教育総務課 庶務係 ☎551-0129 FAX551-0149

大栄環境ホールディングス㈱と災害廃棄物処理の協定締結

10月12日、本市は大栄環境ホールディングス㈱と「災害廃棄物等の処理に関する協定」を締結しました。

協定により、災害時に出る災害廃棄物の処理を適正・円滑に行うことが可能になります。

災害時、市の一般廃棄物処理施設で処理が困難になった場合などに市の要請に応じて必要な人員、車両、重機、資材などを大栄環境ホールディングス㈱が調達。災害廃棄物の撤去、収集運搬や処分などに協力・支援いただきます。

金子文雄 代表取締役社長（左）と野村市長

問環境政策課 生活環境係 ☎551-0341 FAX554-1123

11月は児童虐待防止推進月間

児童虐待は子どもの人権を著しく侵害し、心身の健全な成長や人格形成に悪影響を与え、将来世代の育成に懸念を及ぼす行為です。

児童虐待には身体に外傷を負わす（負わせる恐れがある行為を含む）「身体的虐待」、児童に対してみだらな行為をする・させる「性的虐待」、十分な養育をしない（食事を与えない、病院や健診に連れて行かない、通学させない）「ネグレクト」、子どもに暴言を浴びせる、配偶者間の喧嘩や暴力を見せる「心理的虐待」があります。

子どもの様子を見て「おかしいな」と思ったらためらわず、最寄りの子ども家庭相談センターや家庭児童相談室に連絡をしてください。

毎年、「児童虐待キャラバン隊」が市役所を訪問しています

問家庭児童相談室 ☎551-0300 FAX552-9320

児童虐待の連絡・子どもに関わる相談

- 栗東市家庭児童相談室
  ☎551-0300（平日10:15～17:15）
- 滋賀県中央子ども家庭相談センター
  ☎562-1121（平日8:30～17:15）
- 子どもを守る虐待ホットライン
  ☎562-8996（24時間受付）
- 児童虐待全国共通ダイヤル
  ☎189（☎0570-064-000）
  （近くの子ども家庭相談センターに電話がつながります。）
- 草津警察署
  ☎563-0110

オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。

旧RDエンジニアリング最終処分場

二次対策工事の進捗状況

滋賀県が実施している、旧RD最終処分場問題解決のための二次対策工事は、平成32年度末完了を目指して現在施工中です。

二次対策工事は、廃棄物などの掘削除去を行うとともに、底面粘土層の修復と側面地下水帯水層の遮水を行い、併せて浸透水を揚水処理することなどにより、生活環境保全上の支障、その恐れを除去するものです。

■モニタリング調査結果

処分場の浸透水、周辺地下水の水質調査が実施されており、平成30年6月の調査では、ひ素、ほう素で環境基準を超過する地点がありました。旧RD最終処分場問題連絡協議会では、調査結果を踏まえて二次対策工事後のモニタリング調査計画案などが話し合われています。

■平成30年度の工事施工箇所

・A工区…選別土が仮置きされています

・B工区…鉛直遮水工、洪水調整設備工などが実施されます

・C工区…鉛直遮水工、選別土での埋め戻しが実施されます

・D・E工区…工事用進入路設置、底面・側面遮水工が実施されます

・有害物掘削除去…C・D区画、F・G区画の掘削が実施されます

なお、工事状況について、工事の進捗に合せて、現場見学会が開催されています。

※地下水などの利用にあたっては引き続きご留意ください。

平成30年度の工事施工箇所

（滋賀県資料引用）

工事や周辺地下水などの状況、現地見学会の詳細は、県ホームページ（http://www.pref.shiga.lg.jp/d/saisyu/index.html）をご覧ください。

岡市役所 産業廃棄物対策室
☎551-0469 FAX554-1123
滋賀県 最終処分場特別対策室
☎528-3670 FAX528-4849

市長からのメッセージ

～市民の皆さまへ～

笑顔がいちばん！ つながる栗東市へ

10月8日に「市政功労者表彰式」を行いました。式では各方面で市の発展・振興に貢献した人・団体に表彰状を贈りました。皆さまのご功績に対して深く敬意を表すとともに、心から感謝を申し上げます。

さて、11月は児童虐待防止推進月間です。連日ニュースなどでとりあげられる虐待の報道に、胸を痛めている人も多いと思います。子育ての悩みや不安の積み重ねなど、さまざまな理由で起こる虐待は、親子を傷つけ苦しめ、子どもの将来に大きく影響します。

こうした中、虐待防止を呼びかけるための行動として、11月1日に市内で街頭啓発を行います。10月末には、「子どもの笑顔がいちばん！」を合言葉にたすきをつなぐ「びわ湖一周オレンジリボンたすきリレー」、庁舎前で児童虐待防止キャラバン隊によるメッセージ伝達式がありました。このような活動をきっかけに、虐待防止について考えていただけるとうれしいです。

あなた自身や周りの親子の悩みなど、心配事がありましたら、家庭児童相談室に連絡・相談してください。

この時期は、各地でふれあいまつりや文化祭など、たくさんの催しが行われています。皆さまもご参加いただき、地域の輪を広げながら、充実した秋をお過ごしください。

昨年度の「びわ湖一周オレンジリボンたすきリレー」

栗東市長 野村昌弘

「架空請求」心当たりのないハガキは無視

市内では、「架空請求ハガキ」が送付されてきたという相談が急増しています。手口を知り被害に遭わないようにしましょう。

＜事例＞「消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」と書かれたハガキが届いた。電話をすると弁護士を名乗る者を紹介され、指示に従いコンビニでギフト券を購入し、番号を伝えて取り下げ料10万円を支払った。

＜助言＞公的機関のような名称をかたり、法的措置を取ると不安をあおります。架空請求を行う悪質業者は消費者の情報を把握しているわけではなく、何らかの名簿をもとに送付しています。ハガキに書かれている電話番号へは絶対に電話をしてはいけません。無視をしてください。

不安に思えば、すぐに警察や消費生活相談窓口へ相談してください。

問自治振興課 消費生活相談窓口（相談無料）
☎551-0115（局番なし188） FAX551-0432
滋賀県消費生活センター（相談無料）
☎0749-23-0999

草津警察署安全伝言板

被害者支援に対する理解を

11月25日から12月1日は犯罪被害者週間です。地域全体で「被害者を支え、被害者も加害者も出さない街づくり」を実現していきましょう。滋賀県警察や民間被害者支援団体では、相談窓口がありますので、ご利用ください。各警察署にも相談窓口があります。

【被害者支援に関する相談窓口】

- 犯罪被害者サポートテレホン
  ☎521-8341（平日 10時～16時）
- ㈶おうみ犯罪被害者支援センター
  ☎525-8103（平日 10時～16時）
- 警察総合相談電話（県民の声110番）
  ☎525-0110（平日 8時30分～17時15分）
- 性犯罪被害者相談電話（性犯罪110番）
  ☎522-1551
  フリーダイヤル 0120-167110（24時間）

問草津警察署警務課
☎563-0110　FAX563-0116

子育て情報

～子どもの着脱「自分でできたよ」～

着脱は○歳になったら○○ができるというものではありませんので、子どもの様子や状態をみながらすすめましょう。

■ハイハイのころ…動きが出てくるので、衣服は上下に分かれており、ボタンの少ない物にすると着脱させやすいです。

■つかまり立ちのころ…ズボン（オムツ）をつかまり立ちで脱ぎ着させると、自分で片足を上げるようになります。脱がせる時も立たせて、ズボンを足首まで下ろすと、ズボンから足を抜こうとしたり、服の袖を持つと腕を抜こうとしたりします。

■自分で立てるころ…

＜上着＞かぶるタイプの上着が着やすいです。首をとおして、服のすそを下ろすと腕を出そうとします。大人が袖を持って「こっちだよ」と誘導すると通しやすくなります。

＜ズボン＞腰周りはゴムで半ズボンだと自分でやりやすいです。大人にもたれておすわりをさせると、自分で履く動作がわかりやすいです。座らせてズボンに足を通した後、立たせてからズボンを上げるようにします。伸縮しやすい物や、ゆとりのある衣服がいいですね。

■慣れてくると…ズボンを上げるように言葉をかけると、前の方だけ上げようとします。上がりにくい後ろ側をサポートしながら「自分でできた」という気持ちを大切にしましょう。毎日しているうちに「自分で」とがんばりたい気持ちが芽生えてきます。初めはうまくいかず、かんしゃくを起こしたり、泣いたりすることもあるかもしれませんが、一緒にしたり、少しサポートしたりすることで、「自分でできた！」という気持ちが持てます。さらに、「上手にできたね」とほめることで次の「やってみよう」の意欲につながっていきます。

問地域子育て包括支援センター
・大宝東児童館内　☎551-2370 FAX551-2330
・治田西カナリヤ第三保育園内
　☎553-3907 FAX553-3908
・金勝児童館内　☎558-3527 FAX558-3527
・治田東児童館内　☎554-6115 FAX554-6116

子どもの話を真剣に受け止めよう
～栗東市子育てのための12か条＜子どもへのとの接し方４か条＞～

りっとう再発見 142

市内飲食店の出店もあり、金勝の雄大な自然の中で秋の一日を楽しめます。

りっとう市民秋まつり

問栗東市観光物産協会
☎551-0126／FAX551-6158
ホームページ https://www.ritto-kanko.com

スポーツの秋、音楽の秋、食欲の秋「11月11日」は、みんなで金勝山へ、レッツゴー！

昨年、装いを新たに「秋まつり」として復活したりっとう市民まつり。おかげさまで約1700人の皆さんに楽しんでいただきました。

今年は「世界と出会う交流広場」や「ミナヅナマルシェ」とコラボレーションし、さらにパワーアップをします。木のジャングルジムや馬のまち栗東ならではの乗馬、スラックラインをはじめ、木登り、ツリーハンモックなど親子で楽しめるさまざまな体験ができます。他にも、音楽・スポーツなどの圧巻のステージパフォーマンス、栗東の食を堪能できるマルシェなど秋の金勝山には楽しみな内容が盛りだくさんです。

多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

ロープを使った木登り体験では、高いところから秋の自然を眺めることができます。

スラックライン（ベルト状の上を歩いたりジャンプしたりするスポーツ）が体験できます。

※会場までは、市内4か所（栗東駅、市役所、コミセン葉山東、コミセン金勝）から無料シャトルバスを運行します。市役所、コミセン葉山東、コミセン金勝に無料駐車場があります

※会場周辺の平谷球場に有料臨時駐車場（清掃協力金500円）を用意しています

※道の駅こんぜの里りっとう前の駐車場は、シャトルバス転回場のため、利用できません

よりよく生活するための12か条 ⑧

《治田幼稚園》はきものをそろえて、相手を思いやりましょう

園では、12か条の取組みの中でも、特に「はきものをそろえる」ことを大切にしています。はきものをそろえる大切さを職員劇で伝えたり、スリッパがそろった状態と乱れた状態の写真をトイレ前に掲示するなどの取組みをとおして、3歳児も気付いてそろえる姿が見られはじめました。卒園のころには靴箱の靴も、ふちに沿って見事に全員がそろえられるようにまでなります。

「はきものをそろえること」と言います。自分の心もすっきりし、心に余裕ができると周りへの気配りもできやすくなります。公共のマナーを身につけるとともに、相手を思いやる気持ちも育っていると感じます。

問幼児課 ☎551-0424 FAX551-0149

大切に　みんなの命を　かがやかせて
～平成29年度人権啓発標語 佳作作品～

うますぎる栗東

RITTO SHIGA, JAPAN

上手い！たくみな技術
美味い！みごとな料理
旨い！！くらしの知恵
馬！！！栗東といえば
など、まちの「うますぎ！」を紹介します。

今月のうますぎ★ブランド

栗東農業まつり

◀栗東産のおいしいものがたくさん販売されます。

お祭りは、季節によって持つ意味合いが変わりますが、収穫の季節に開催される秋の祭りは無事に収穫できたことを神様に報告することや、収穫に対する感謝の気持ちを表すことが起源となっています。

栗東でも、収穫の喜びを分かち合う栗東農業まつりが今年も開催されます。栗東農業まつりでは、例年好評の「栗東大なべ」はもちろんのこと、生産者自慢の取れたて野菜の直売や野菜の出来を競うコンテストが行われます。また、栗東産の作物を使った加工品など、地元産のものがたくさん販売されます。

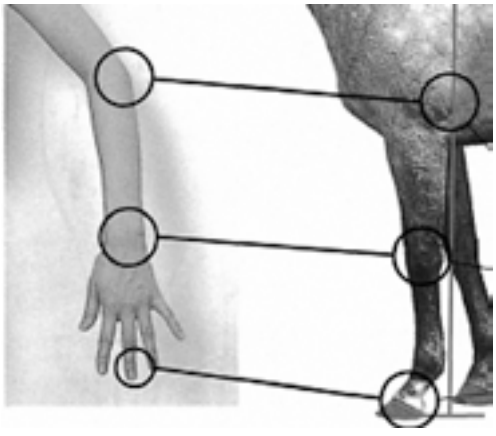
当日はJA栗東市のマスコット「クリまる」も参加する予定です。例年多くの人が訪れている栗東農業まつり。活気あふれる雰囲気を楽しみにお出かけしてみてくださいね。

栗東農業まつり
- 日時…11月17日(土)・18日(日)
  9時30分～15時
- 場所…JA栗東市総合センター桃李館前

問農林課 農政係　☎551-0124　FAX551-0148
JA栗東市 農産課　☎552-0575

馬のまち栗東コラム

馬の蹄(ひづめ)はなぜ1つに？



◀人と馬との肢の比較。指に相当する部分が非常に長いことが分かります。

馬は1本の肢(あし)に1つの蹄を持つ奇蹄目(きていもく)ですが、馬の祖先とされている「エオヒプス」は前肢には4つ、後肢には3つの蹄がありました。一方、似た動物としてよく挙げられる鹿は2つの蹄を持ち偶蹄目(ぐうていもく)に属しています。なぜ、馬は鹿と違い蹄が1つになったのでしょうか？

草食動物は肉食動物から狙われる存在であり、逃げなければいけません。速く走るためには、ストライド（歩幅）を伸ばすことが必要です。ストライドを伸ばすために、馬は最も長い指である中指のみを残すことを選び、他の指は退化していきました。現在の馬の外貌を見ると、中指以外で残るのは退化した親指の痕跡と言われる「夜目(よめ)」が残るだけです。

一方、鹿は速いだけでなく高いところや荒地へ逃げるために、凹凸や急斜面にも対応できるように2つの蹄が残ったと考えられています。

今回、紹介した蹄が1つになった話以外にも馬の身体には速く走るための秘密が数多くあります。今後、このコーナーで掲載していきます。

問元気創造政策課 馬事業企画室
☎551-1808　FAX553-1280
（協力：JRA栗東トレーニング・センター）

思いやり　次代へ繋ぐ　心の絆
～平成29年度 21世紀スローガンコンテスト 努力賞作品～

ポールを使って健康的なウォーキング

10月12日（金勝地域）
　膝や腰への負担が少なく、全身運動の効果が期待できる「ノルディックウォーキング」が金勝学区地域振興協議会の主催で開催。21人の参加者は、２本のポールを使った歩き方などを教えてもらい、コミュニティセンター金勝から九品の滝、大野神社までをウォーキング。爽やかな秋を感じながら、体にやさしいスポーツを体験しました。

神社に美しい歌を奉納

９月12日（大野神社）
　好評だった大野神社での歌の奉納会が今年も開催。地域の皆さんによる団体「なごやかサークル」が拝殿で「金勝尋常小学校行進曲」など全９曲の美しいコーラスを奉納しました。雨が降る中でしたが、会場は美しい歌声と和やかな雰囲気に包まれました。

「手原駅マルシェ」が開催

９月17日（JR手原駅周辺）
　栗東の特産品を揃えた「手原駅マルシェ」が開催され、40周年を迎える地域の団体「手原繁栄会」が、地名の由来となった伝説を元に作った「てはらみまんじゅう」を販売。江戸時代にあった立場（たてば）の名前を冠したコーヒーも登場し、駅前が賑わいました。

全国障害者スポーツ大会への決意

10月５日（市役所）
　「第18回全国障害者スポーツ大会」に出場する、伊藤さゆり選手（フライングディスク）の激励会が開かれました。滋賀県大会のディスタンスで県大会新記録を出した伊藤選手から「精一杯頑張ってきます」と力強い決意表明がされました。

農業分野でドローンの実演会

10月13日（上砥山地域）
　「ドローンを活用した農業を考えよう」と、上砥山営農組合が市内で初めて、農業分野でドローンを用いた実演会を開催しました。病害虫などの予防や駆除作業用・運搬用ドローンの実演があり、参加者が将来の農業を考える機会になりました。

フォトニュース

地域の人から防災を学ぶ

９月13日（治田小学校）

本年度より９月を「治田小防災月間」と位置づけ、学年・学級で「防災教室」が実施されました。６年生では、平成25年に台風18号で大きな被害があった目川の水害を地域の人から学びました。当時や現在の自治会長、防災士が、水害の状況や災害に向けての備え、地域の助け合いについて話し、子どもたちはメモをとりながら、真剣に学習しました。

馬に親しむイベントが開催

９月24日（JRA栗東トレーニング・センター乗馬苑）

「ウマシタ！ 2018・馬に親しむ日」がJRA栗東トレーニング・センターと公益財団法人栗東市体育協会の共催で開催。ジョッキーとふれ合えるイベント、乗馬体験などの内容で来場者が楽しいひとときを過ごしました。

小学校でクラシックコンサート

10月10日（治田西小学校）

さきら主催の「小学校芸術鑑賞教室」で「京都フィルハーモニー室内合奏団」によるコンサートが市内全小学校で開催されました。ヴァイオリン体験では、児童２人が「おもちゃのチャチャチャ」を一緒に演奏。本格的なクラッシック音楽を身近に感じられる貴重な時間になりました。

■発行／栗東市役所
■URL／http://www.city.ritto.lg.jp/
〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号
☎077-553-1234（代表） FAX 077-554-1123（代表）

輝く栗東人

JRA騎手から革職人に転身

佐伯 清久さん（47歳・下戸山）

元JRA騎手。1989年にデビューし、5戦目で初勝利。騎手の傍ら2000年ごろから革製品を独学で作り始める。2005年、通算1948戦77勝で引退。革職人に転身し、ブランド「Bull'z-F」を立ち上げる。財布や鞄だけでなく、馬の調教時に身に付ける防具も製作し、元騎手だからこそ知り尽くした防具の使い心地とおしゃれなデザインが評判になっています。

■革製品を作り始めたきっかけは？

小さいころから木工などの物づくりが好きで、騎手時代も趣味でアクセサリー作りや陶芸などをしていました。

本格的に、革製品を作るようになったきっかけは、自分の欲しい財布が既製品で見つからなかったので、自分で作ってみようと思ったことです。革製品を手作りする材料や道具が売っていたので作ってみましたが、思いどおりにできあがらなくて、そこから独学での挑戦が始まりました。

けがが続いていたこともあり、16年間続けた騎手を引退し、これからは自分の好きなことをやろうと決意しました。

■馬の調教用の防具とは？

騎手時代に、自分が使うチャップス（脚部の防具）やヘルメットを革を使って自分好みに作っていました。その内、騎手仲間や調教助手にも作るようになりました。

今年度はチャップスの注文数が200本以上あり、半年で製作しています。厩舎のカラーを取り入れたり、要望があれば細かいパーツやフリンジなどのデザインもオーダーメイドで承っています。

■製作の楽しさはどこにありますか？

できあがりの目途が立ってきて、少しずつイメージどおりの形が見えてくる時が、作業していて楽しいです。

■今後考えていることは？

滋賀のイベントも含め、全国の色々な手作り市に出店したいです。今後、シルバーアクセサリー作りも本格的に進めていきたいと考えています。

今年の9月から、市のふるさと納税の返礼品として、馬にちなんだ革の小物を出しています。これまでの経験をいかして、馬のまち栗東を自分らしく盛り上げていけたらと思います。

今は納得したものを作れるので、以前に比べて、技術も上がっていると思います。お客さまに喜んでいただけるよう一つひとつ心を込めて作っています。

佐伯さんの世界観がつまった革のミニチュア作品。手先の器用さがよくわかります。

ただいま 土地買取強化中
スピード査定　即金買取　秘密厳守
ご相談／お見積りだけでもお気軽に（査定無料）
分譲中 GREEN PARK 川辺 第3期 2区画 第4期 14区画
新築／リフォーム／仲介／賃貸／土地買取
SEIWA 西和不動産
栗東市上鈎459-7 TEL.0120-477-210

555 三恵工業株式会社
自動車用補修部品（特にサスペンション、ステアリング系部品）のメーカーとして国内を始め、世界120以上の国、地域のお客様に高い信頼を頂いております。
当社製品の一例

全日本ラリー選手権JN-6クラスにTHREE FIVE MOTORSPORTとして、参戦しています。
〒520-3045 滋賀県栗東市高野305
tel.077-553-0555 fax.077-553-2408
http://www.sankei-555.co.jp/jp/
旧車ブランド：555GOLD
http://555gold.spk-cuspa.jp/
びわこ放送にてCM放映中

広告欄 有料広告掲載のお申込み・お問合せは　広報課 ☎551-0641 FAX554-1123へ（掲載料金：本文最終ページ：1枠30,000円）
掲載内容のお問合せは、直接広告主へ。内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、市が推奨するものではありません。

人口（10月1日現在）　人口69,270人　男34,505人　女34,765人　前月より59人増　世帯数27,628世帯

VEGETABLE OIL INK
この広報紙は、古紙配合の再生紙とベジタブルインクを使用しています。